

科目名	芸術批評					単位	2.0
担当教員	渡邊 幸彦						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	1510

●授業のテーマ
映画の批評

●到達目標

- ・映像文化の歴史を知り、古典的作品への理解を持つ。
- ・映像作品について、歴史的背景を知りつつ批評できる能力を持つ。

●学習内容(授業概要)

映像作品をテーマとして正しく鑑賞し評価できるように、経験的実践的に授業を行う。まずは映像批評の歴史をたどり、古典的作品から初めて現代的作品までを鑑賞しつつ批評する。

授業ではディスカッションや議論を取り入れて、より幅広い関心や理解がはかれるよう配慮する。

この授業は「映像文化コース」の所属学生だけが受講できる。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. 概説
2. 芸術と批評の対立
3. 作品の主体性と伽感性
4. 作品主義と芸術主義
5. 批評家の誕生とその意義
6. 批評の歴史的展開
7. 作家と批評家との関係性
8. 芸術の商業化
9. 商業主義は芸術を破壊するか？
10. 批評の基礎
11. 批評を読む
12. 批評を批判する
13. 批評を論ずる
14. 自ら批評を書く
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

- ・事前に与えられ指摘された資料を読んでくる。
- ・事後与えられたテーマに従ってレポートを提出する。

●成績評価方法・基準

平常点のみ

●テキスト（必携）

必要なものはその都度印刷物にて配布するかまたは指定する。

●参考文献／その他

必要に応じて示唆する。

●履修上の注意

- ・本講はかなり実践的な内容を含むため、実際に授業に出て議論に参加することが大切である。またレポート等の提出物は必ず提出すること。